

海域火山の最近の活動について*

The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁
Japan Coast Guard

前回（第135回）に報告した以後（2016年6月15日から2016年10月2日）の活動状況は以下のとおりである。

南方諸島方面

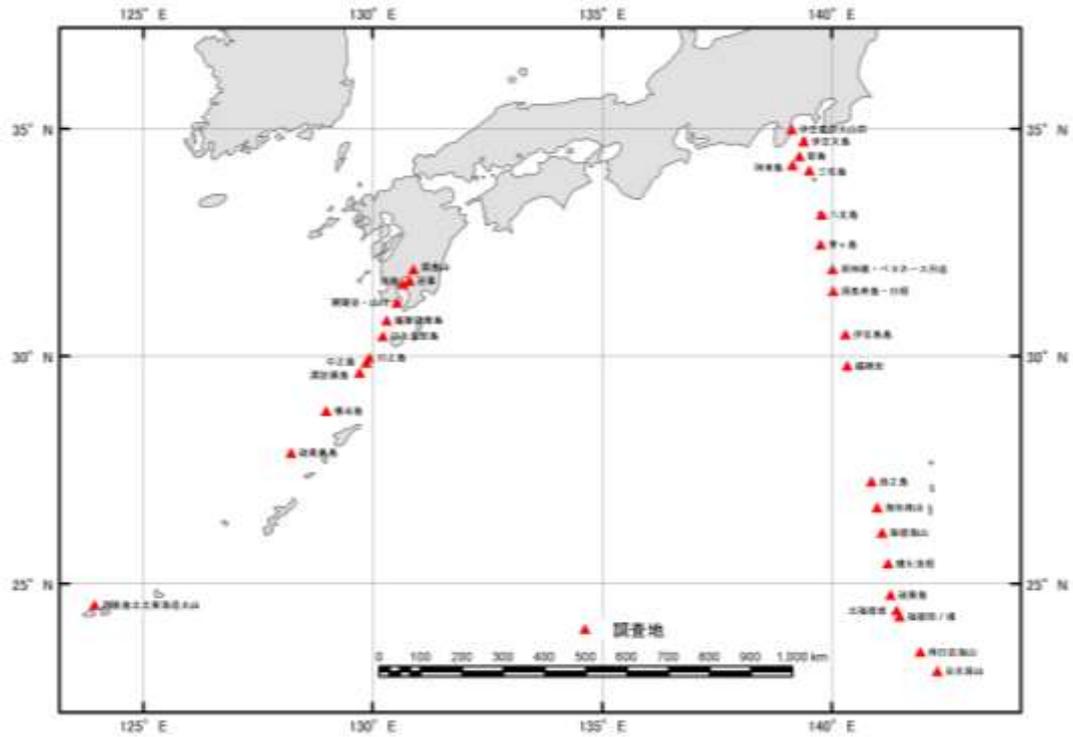
場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
明神礁	2016/7/19	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
明神礁	2016/9/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
ベヨネース列岩	2016/7/19	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
ベヨネース列岩	2016/9/15	海上保安庁	変色水域などの特異事象なし。
須美寿島	2016/9/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
伊豆鳥島	2016/9/15	海上保安庁	<p>燕崎付近から三ツ石を経て南崎までの海岸線付近に沿って幅約200～300mの薄い褐色の変色水域が分布していた（第2図）。</p> <p>また、この変色水域は伊豆鳥島南端の三ツ石付近から南西方向へ帯状に長さ約1,000m、幅約300mで分布していた。</p>
孀婦岩	2016/9/15	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
西之島	2016/7/19	海上保安庁	<p>第7火口及びその周辺には噴気及び火山ガスの放出は視認されなかった（第3図）。前回調査の6月7日（以後6月観測時とする）と比較して噴気活動は縮退していると考えられる。</p> <p>火砕丘南側斜面上部のクラック及び地形変化は6月観測時と比較して顕著な変化は認められなかった。</p> <p>熱計測画像からは、第7火口の火口縁及び火砕丘周辺の溶岩原に地表温度の高い領域が点在していたが、6月観測時の観測結果と比較して顕著な温度分布の変化や温度上昇等の特異事象は認められなかった。</p> <p>西之島の南西海岸に薄い茶褐色の変色水域が分布していた（第4図）。また、海岸線全体に薄い青白色から黄緑色の変色水域が幅約100mで分布していた。なお、</p>

※ 2016年12月22日

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
			<p>変色水域の範囲は6月観測時と比較して縮退していた。</p> <p>西之島の総面積は2.68km²で、6月観測時と変化がなかった。また、西之島の大きさは東西方向約1,930m、南北方向1,950mで、6月観測時と比較するとほぼ変化がなかった。</p> <p>西之島南方の西之島南海丘及び付近海域において変色水域等の特異事象は認められなかった。</p>
西之島	2016/8/18	海上保安庁	<p>第7火口及びその周辺には噴気及び火山ガスの放出は視認されなかった。</p> <p>熱計測画像からは、第7火口の火口縁及び火砕丘周辺の溶岩原に地表温度の高い領域が点在していたが、7月観測時の観測結果と比較して顕著な温度分布の変化や温度上昇等の特異事象は認められなかった。</p> <p>西之島の西海岸を除く海岸線に薄い褐色の変色水域が分布していた（第5図）。</p> <p>西之島の総面積は2.68km²で、7月観測時と変化がなかった。また、西之島の大きさは東西方向約1,900m、南北方向約1,950mで、7月観測時と比較するとほぼ変化がなかった。</p> <p>西之島南方の西之島南海丘及び付近海域において変色水域等の特異事象は認められなかった。</p>
西之島	2016/9/15	海上保安庁	<p>第7火口及びその周辺には噴気及び火山ガスの放出は視認されなかった。</p> <p>熱計測画像からは、第7火口の火口縁及び火砕丘周辺の溶岩原に地表温度の高い領域が点在していたが、8月観測時の観測結果と比較して顕著な温度分布の変化や温度上昇等の特異事象は認められなかった（第6図）。</p> <p>西之島の海岸線に幅約100m～1,000mの範囲に薄い褐色の変色水域が分布していた。</p> <p>西之島南方の西之島南海丘及び付近海域において変色水域等の特異事象は認められなかった。</p>

南西諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
硫黄鳥島	2016/7/17	第十一管区 海上保安本部	<p>当庁航空機で、硫黄鳥島及び周辺海域を目視観測した結果、顕著な特異事象は認められなかった。</p> <p>硫黄岳火口内（第7図）及びグスク火口内に弱い白色噴気の放出を認めた。なお、硫黄岳火口内の湖水面積が前回6月調査時と比較すると縮小していた（第7図）。</p> <p>変色水域は、硫黄岳火口の西側海岸線に沿って薄い褐色の変色水域が分布していた。また、グスク火口の東側海岸線に薄い黄緑色の変色水域が分布していた（第8図）。</p>
硫黄鳥島	2016/8/2	第十一管区 海上保安本部	<p>当庁航空機で、硫黄鳥島及び周辺海域を目視観測した結果、顕著な特異事象は認められなかった。</p> <p>硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側の噴気口（第9図）に弱い白色噴気の放出を認めた。また、硫黄岳火口内の湖水が縮小し2ヶ所の水たまり以外は消滅していた。</p> <p>変色水域は、硫黄岳火口の西側海岸線に沿って薄い黄緑色の変色水域が分布していた。また、前回7月調査時に確認されたグスク火口の東側海岸線の変色水域は視認できなかった。</p>
硫黄鳥島	2016/9/13	第十一管区 海上保安本部	<p>当庁航空機で、硫黄鳥島及び周辺海域を目視観測した結果、顕著な特異事象は認められなかった。</p> <p>硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側の噴気口に弱い白色噴気の放出を認めた。</p> <p>変色水域は、硫黄岳火口の西側海岸線に沿って薄い褐色から薄い黄緑色の変色水域（第10図）が分布していた。</p>
西表島北北 東海底火山	2016/6/23	第十一管区 海上保安本部	特異事象なし。
西表島北北 東海底火山	2016/7/21	第十一管区 海上保安本部	特異事象なし。
西表島北北 東海底火山	2016/8/17	第十一管区 海上保安本部	特異事象なし。



第1図 海域火山位置図

Fig.1. Location map of submarine volcanoes and volcanic islands



第2図 伊豆鳥島

2016年9月15日 13:25 撮影

Fig.2. Izu-Torishima Island



第3図 西之島 第7火口付近

2016年7月19日 12:34 撮影

Fig.3. The 7th crater of Nishinoshima



第4図 西之島 南西海岸の変色水域

2016年7月19日 13:18 撮影

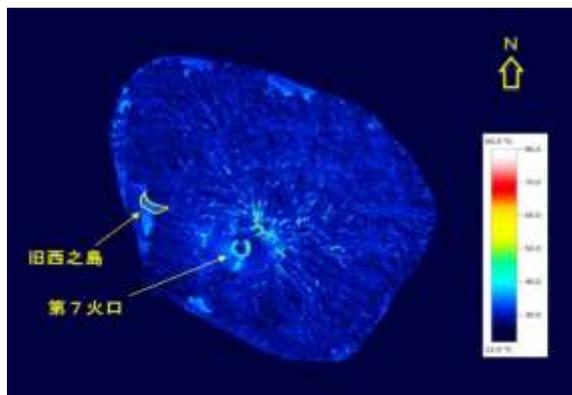
Fig.4. Discolored water on the southwest coast of Nishinoshima Island



第5図 西之島の変色水域

2016年8月18日 12:41 撮影

Fig.5. Discolored water around Nishinoshima Island



第6図 西之島の熱計測画像

2016年9月15日 12:18~28 撮影

Fig.6. Thermal Image of Nishinoshima Island



第7図 硫黄鳥島 硫黄岳火口

2016年7月17日 14:52 撮影

Fig.7. Iodake crater of Io-Torishima



第8図 硫黄鳥島 グスク火口東側海岸線の変色水域

2016年7月17日 14:55 撮影

Fig.8. Discolored water on the east coast of Io-Torishima Island



第9図 硫黄鳥島 グスク火口の噴気

2016年8月2日 15:00 撮影

Fig.9. Fumaroles in Gusuku crater of Io-Torishima



第10図 硫黄岳火口西側海岸線の変色水域

2016年9月13日 11:07 撮影

Fig.10. Discolored water on the west coast of Io-Torishima
Island